

農業分野の外国人材受入れに関する現地説明・相談会

スリランカ・コロンボ

募 集 要 項

1. 概要・趣旨

一般社団法人全国農業会議所は、農業分野の外国人材受入れ促進を目的に、農林水産省の事業にて海外で現地説明・相談会を開催しています。

現地の送出機関や教育機関の関係者を集め、技能実習や特定技能といった日本の外国人材受入れ制度を周知し、農業で働く魅力を PR することが主な目的です。

この度、スリランカの首都コロンボで開催し、外国人材の雇用に関心のある農業者や、監理団体・登録支援機関の参加を募集します。

参加される皆さまには、日本農業の働く環境や魅力を伝えていただくとともに、次のようなことを趣旨に現地機関や人材と交流いただきます。また、送出機関等の視察も行います。

- ◆ スリランカ人材送り出し事情を知る！
- ◆ 現地の人材と直接交流し雰囲気把握する！
- ◆ 現地の送出機関とつながり人材確保へ！

2. 日程表

9月29日(火)	
8:30 集合	成田空港第2ターミナル 出発ロビー
	搭乗手続き、手荷物預入、手荷物検査、出国審査等
日本時間 11:15 発	成田空港 UL 455 便 ※フライト時間：9 時間 20 分
現地時間 17:05 着	バンダラナイケ国際空港 ※日本との時差：3 時間 30 分遅れ
19:00 着	夕食・ホテル泊
9月30日(水)	
9:00	ホテル出発
9:30-11:30	SLBFE（スリランカ海外雇用局）表敬訪問
12:00-13:00	昼食
14:00-17:00	コロンボ近郊の送り出し機関／SLBFE 研修センター（語学教育視察）または Aquinas でセミナー 候補：KDSJ、Colombo Consultancy
18:00	夕食

10月1日(木)	<セミナー、送出機関の視察>	
9:00	ホテル出発(バス移動)	
10:00-11:30	Gampaha ATI にてセミナー	
12:00-13:00	昼食	
14:00-16:00	送り出し機関訪問 候補語学学校: Dream J	
17:00	夕食	
10月2日(金)	<送出機関の視察> 候補: Orion、Viron、Shiawase	
9:00	ホテル出発(バス移動)	
10:00-11:00	送出・教育機関①	
11:30-11:30	送出・教育機関②	
12:00-13:00	ネゴンボ海岸周辺で昼食(予定)	
13:30-14:30	送り出し機関 3	
17:00	夕食	
10月3日(土)	<セミナー>	
9:00	ホテル出発(バス移動)	
10:00-15:30	コロomboセミナー	
17:00	バンダラナイケ国際空港 到着	
現地時間 19:50 発	バンダラナイケ国際空港 UL 454 便	※フライト時間: 8 時間 50 分
10月4日(日)		
日本時間 08:10 着	成田空港第2ターミナル	
	※訪問予定先とは調整中のため行程や説明・相談会開催日程は変更になる可能性があります。	

各日、現地の送出機関や関係機関と交流します。

スリランカ人材の雇用に関し多様な機関と知り合う機会ですので、奮ってご参加ください。

<説明・相談会の流れ>

	内容
①	開会・あいさつ
②	日本農業の働くための解説ビデオ視聴
③	質疑応答
④	参加受入れ機関・監理団体などの紹介（各社数分ずつ）
⑤	個別ブースでの相談会・送出機関の候補生や学生が対象
⑥	個別ブースでの相談会・送出機関や教育機関の職員が対象
<皆さまへお願いすること> ➤ 「参加機関からの経営紹介」でのプレゼン（数分程度） ➤ 「個別相談会」における候補生や学生の対応（参加者からの質問対応など） ➤ 「個別相談会」での送出機関職員等との交流（雇用に関する相談など） ➤ これらに使用する資料の作成・提供 ※資料の量や提供期日によっては、こちらで翻訳をいたします。 ※シンハラ語の通訳を配置します。（自前で通訳を用意する場合を除く）	
プレゼンや相談会対応の際のポイント （他国での開催時に外国人から関心が高かった内容） ・農場や住環境の写真や動画を映す ・（日本語の動画でも）テレビに取り上げられた動画を映す ・キャリアパスを提示し、中長期に就労する可能性を示す ・外国人材が働いている人数、住環境や生活の支援を説明	

3. 参加申込方法

①以下の参加申込ページにアクセスしてください。

https://ntour.jp/srilanka-recruitment_26/

②本募集要項又は申込ページの内容をよく確認し、「お申込みはこちら（参加登録）」ボタンから必要事項を入力してください。

申込締切：2026年9月15日（火）

③入力したメールアドレスに参加登録の案内が届きます。

※申込多数の場合、先着や抽選などとさせていただくことがございます。

④その後の段取りは個別にご連絡差し上げます。

<参加費用>

- 参加費は無料です。
- 渡航・宿泊・食事にかかる経費は各自ご負担ください。
- 相談会に対応した機関には1経営体につき、30,000円の謝金を後日支払います。

<参加資格>

- 農業分野で技能実習や特定技能などで既に外国人材を受け入れている、又は受け入れる意向があると認められる農業経営体又は派遣会社であること。
- 農業分野の受入れに対応している監理団体・登録支援機関であること。
- 本説明・相談会の趣旨を理解し、事前及び当日の行程について主催者と連絡調整し、指示にしたがうこと。

4. 渡航方法について

(1) 主催者とともに上記日程に沿って同行し渡航・参加する場合

- ・ご希望の場合は、主催者と同様の航空券、ホテルを旅行会社が手配します。
- ・ご自身で手配いただいても構いません。
- ・現地での移動は、すべて手配したバスに乗りいただけます。

【必要経費の概算額】

航空券…約 15～20 万円（手配時期により実勢価格は変動します）

宿泊費…約 1.5～2 万円×4 泊分

食事代…実費相当

※運賃額をご購入時点で有効なものが適用となります。ご予約後、購入までの間に運賃・税金・運賃規則は予告なく改訂される場合があります。記載額は7月20日時点の運賃額であり、航空券購入時の実際の運賃額で請求させていただきます

※申込後にキャンセルされる場合、事情を問わずキャンセル時点で旅行会社から提示されたキャンセル料を徴収させていただきます

(2) 所定の日時に自身で会場に向かい、自由な旅程で参加する場合

- ・航空券や宿泊、現地の移動は原則各自でご対応ください。
- ・主催者の宿泊ホテルまたは近隣のホテルをご利用の場合は、現地の移動バスに乗りいただくことも可能です。（要相談）

5. 免責事項

本説明・相談会への参加によって損害等を被った場合、全国農業会議所では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

6. その他

本事業の年間契約や各国の特徴などを↓のサイトからご覧いただけます。

<https://agri-gaikokujinzai.info/>

[参考]スリランカの国民性と人材の特徴

① 共通の仏教的価値観が支える、日本との文化的親和性

スリランカ国民の7割近くは仏教徒であることから、日本の食生活や価値観に共通点が多く、文化的な適応もしやすいとされています。穏やかでフレンドリーな性格に加え、年長者や先生を敬う文化、お年寄りや子どもを大切にする姿勢など、日本人と似た価値観を持っていることも特徴です。また、柔軟な思考と機転の良さから、さまざまな場面での対応力にも優れています。

② 農業・介護分野で高い人気

スリランカ人材を受け入れている事業者からの評価は大変良好です。「礼儀正しく優しい人が多い」「いつも笑顔で好感が持てる」「面倒を起こさない、おとなしい子が多い」「言われたことはしっかり守る」「きれい好きで身だしなみもきちんとしている」「柔軟性が高く、職場によく馴染んでいる。長くいてくれそう」といった声があがっており、仕事ぶりや生活態度ともに高い評価を得ています。また、スリランカの主要産業の1つである農業に慣れ親しんだ人材が多く、日本の農業分野とも高い親和性があります。

③ スリランカ政府が推進する、人材育成を目的とした日本での就労

これまでスリランカの労働者の主な渡航先は中東諸国でした。中東は渡航のハードルが低い反面、安全面の問題や技能習得が十分にできず、人材育成につながりにくいという課題があります。そのため、スリランカ政府は安全性が高く、技能習得や人材育成が期待できる国として日本への関心を高めています

■ 日本で働く労働者数（技能実習及び特定技能）

技能実習：2,432人（技能実習全体の0.5%）

特定技能：2,190人（特定技能全体の0.8%）、うち農業分野277人

技能実習・特定技能ともに2024年でのデータ

■ 送出機関の数

技能実習（S0：送出機関）：138機関

*技能実習の送出機関数は外国人技能実習機構（OTIT）が公開しているリストによるものであり現時点において有効な仲介を担っていることが保証されている機関を示すものではありません。